

# 春の火災予防運動

3月1日から  
3月7日まで

お出かけは  
令和4年度 マスク戸締り  
全国統一防火標語 火の用心



この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることなどを目的に、毎年実施されています。

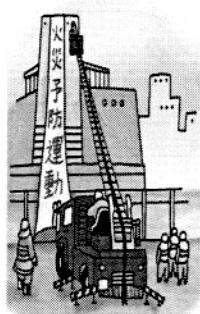
今年度の全国統一防火標語は『お出かけは マスク 戸締り 火の用心』です。火災予防運動期間中には、全国各地で防火に関する様々な行事が行われます。

岐阜市消防本部では岐阜守るため、ご家庭でも火災予防について考えてみましょう。

そして、この機会に是非、あなたの大切な家族・財産を守るために、住宅用火災警報器の設置をお勧めします。

火災による死者は四人で、前年と比べると三人増加しました。火災による負傷者は、二十八人で、前年と比べると三人増加しました。建物火災の件数は、五十八件で前年と比べると七件減少しました。建物火災のうち住宅火災は三十六件で、建物火災全体の六割を占めています。

火災による損害額は、約一億千二百五十八万円で、前年と比べると一千二百十三万円損害額が減少しました。



# 女性防火クラブだより

発行所: 岐阜市女性防火クラブ運営協議会事務局  
〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目9  
岐阜市消防本部予防課内  
☎ 058-262-7163  
令和5年3月1日号

岐阜市火災概要  
令和四年

令和四年一月一日から十二月三十日に岐阜市内で発生した火災

の総件数は九十四件で、前年の九十一件と比べると四件増加しました。

出火原因は、「放火・放火の疑い」が十八件で最も多く、次に「電気関係」が十五件、「たばこ」が十二件でした。

火災による死者は四人で、前年と比べると三人増加しました。

火災による負傷者は、二十八人で、前年と比べると三人増加しました。建物火災の件数は、五十八件で前年と比べると七件減少しました。建物火災のうち住宅火災は三十六件で、建物火災全体の六割を占めています。

○火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。

○火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、十年を目安に交換する。

○火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する。

○火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置し、使い方を確認しておく。

○お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。

○防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

## 四つの習慣 十のポイント

○寝たばこは絶対にしない、させない。

○ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。

○コンセントはほこりを清掃し、離れない。

○不必要的なプラグは抜く。  
六つの対策